

令和2年度 森林環境譲与税の使途状況

事業区分	事業名	事業の内容	事業総額	税導入の効果
意向調査	森林経営管理事業	<p>笹目地区の森林所有者に森林経営管理に関する意向調査を実施した。</p> <p>また、令和元年度に意向調査を実施した和田地区の森林所有者からの意向について、森林経営計画へ移行することとし、森林整備を図ることとした。</p>	2,854千円	<p>意向調査の結果を受けて、町が森林所有者から森林の経営管理の委託を受けて森林整備を推進していく。</p> <p>また、森林経営計画への取組みについては、森林経営管理の税を導入することなく、森林の整備を実施していく。</p>
木質バイオマス利用推進	森林経営管理事業	<p>木材の新たな需要として期待される木質バイオマス発電への燃料供給による林業経営の可能性を検証する目的として、「林業経営が成立つ可能性検証事業」と称し、森林整備の間伐材等を利活用し、チップ化後、燃料材として供給するため、岡山備前県民局と実証実験を行った。</p>	4,693千円	<p>森林整備を実施するとともに、間伐材等の未利用材等をチップ化し、木質バイオマス発電等への燃料供給する体制の構築することで、林業経営が成立つよう推進していく。</p>
基金積立（森林整備等）	森林経営管理事業	<p>森林の現況調査や森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査並びに森林資源調査及び森林整備に備えた積立</p>	6,689千円	<p>基金積立と今後譲与される森林環境譲与税とあわせ、和田・笹目地区以外の意向調査を行い、森林環境整備等を推進していく。</p>
計			14,236千円	